

※当資料は、米国時間 2020 年 11 月 12 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

## マカフィー、MVISION Marketplace と MVISION API を発表、 セキュリティギャップを迅速かつ容易に解消

クラウド駆動型のオープンプラットフォームに、シンプルで統合可能なビルディングブロック方式を採用し、既存のセキュリティインフラストラクチャを拡張

デバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業である米国マカフィー (McAfee Corp、本社：米国カリフォルニア州、Nasdaq：MCFE) は、MVISION プラットフォームの一部として新たに MVISION Marketplace、MVISION API、MVISION Developer Portal を発表しました。これにより、お客様はマカフィーの信頼性の高い Security Innovation Alliance (SIA) パートナーのアプリケーション、および独自に開発されたアプリケーションを既存のセキュリティ環境下に迅速かつ容易に統合することができます。また、セキュリティ チームは、アーキテクチャのセキュリティギャップに迅速に対処し、セキュリティ態勢を容易に改善することが可能となります。今回新たに公開したオープン API フレームワークを導入することで、MVISION プラットフォーム (MVISION ePolicy Orchestrator) 機能を自動化し、IT およびセキュリティオペレーションと統合することで、運用コストの削減を図りながら、脅威に迅速に対応することができます。

多くのセキュリティ環境下で、IT・セキュリティ オペレーションセンター (SOC) チームは、統合性を欠く情報、日常業務に要する膨大な時間、自動化の欠如などの問題に直面しています。マカフィーのクラウドセキュリティ ツールを利用することで、MVISION Marketplace、MVISION Developer Portal、MVISION API などのプラットフォームのコンポーネントを通じて、お客様とパートナーの双方が自動化されたセキュリティの成果を得ることができます。これらのクラウドベースの製品は、先日発表した [MVISION Extended Detection and Response \(XDR\)](#) ソリューションの主要コンポーネントであり、マカフィーと SIA パートナーのソリューションの連携を加速させ、セキュリティの成果を向上させます。

- **MVISION Marketplace** – マカフィーとエコシステムパートナーによる業界最高水準のソリューションをお客様に提供するアプリケーションマーケットプレイスです。
- **MVISION Developer Portal** – 開発者がアプリケーションを MVISION Marketplace で利用できるようにする前に、アプリケーションを構築、テスト、認定したり、お客様がプライベートアプリケーションを開発、導入したりするためのポータルです。
- **MVISION API** – リアルタイムの可視性と McAfee ポートフォリオへの対応を可能にする単一のハイパースケールのグローバルセキュリティアプリケーションプログラミングインターフェース (API) です。この API を通じて、お客様とパートナーはマカフィーと同じものを見て、知って、実行することが可能になりました。

マカフィーの戦略・アライアンス部門のエンタープライズ製品グローバルヘッドであるジェイブド・ハサン (Javed Hasan) は、次のように述べています。「ビジネスと脅威が変化し続ける今日の状況の中で、組織は新たな脅威を解決し、すべての資産を保護するために新しい技術を導入する必

要があります。脅威に対する防御において時間は非常に重要であり、企業は新しいソリューションを統合して展開する能力が必要です。MVISION Marketplace、MVISION Developer Portal、MVISION APIにより、お客様は必要なセキュリティツールを迅速かつ簡単に実装できます。」

MVISION Marketplaceはお客様の既存のセキュリティソリューションを補完するために、最高のパートナー各社と共に立ち上げました。お客様は、Endpoint ProtectionとActive DirectoryのAttivo Networks、SOARのSiemplify、SOCとITのServiceNow、データ中心型セキュリティのためのSeclore、SOCのThreatQuotient、IBM QRadarなど、カテゴリに基づいて検索を容易に行うことができます。

ServiceNowのIT運用管理担当バイスプレジデント兼ジェネラルマネージャーのジェフ・ハウスマン（Jeff Hausman）氏は、次のように述べています。「有効な規模や結果を得るためには、組織的な防御、検出、修復が不可欠です。ServiceNowのプラットフォームに接続できるMVISIONのプラットフォームは、人員の少ないセキュリティチームが調査や対応を効率化し、より多くのユースケースに対応することを可能にします。これにより、無数のデータソースと調査プロセスをリアルタイムに関連づけ、セキュリティとITによる修復やインシデント管理のワークフローに直接つなげることができるようになるのです。」

Attivo Networksの製品管理担当兼バイスプレジデントのマーク・フェガリ（Marc Feghali）氏は、次のように述べています。「MITRE ATT&CKフレームワークによって証明されたように、マカフィーのMVISION EDRとAttivo EDNは優れたエンドポイントセキュリティのための包括的なソリューションです。MVISION Marketplaceの一員となり、最高のエンドポイント保護とラテラルムーブメント（侵入拡大）の脅威検出にイノベーションを提供することができるのを嬉しく思います。」

ThreatQのビジネス・企業開発担当シニアバイスプレジデントのマット・マコーミック（Matt McCormick）氏は、次のように述べています。「変わりゆく脅威の状況に対応するため、サイバーセキュリティの専門家は既存のツールとサービスの統合および相互運用を最優先で行う必要があります。マカフィー製品とThreatQプラットフォームを組み合わせることで、セキュリティエコシステムを拡大し、オープンなセキュリティアーキテクチャを通じてこの問題を解決することができます。」

Siemplifyの共同創業者兼最高経営責任者（CEO）のエイモス・スターン（Amos Stern）は、次のように述べています。「SOARのニーズに合わせて、迅速かつ容易にSiemplifyを導入する機能をお客様に提供することは非常に重要です。MVISION Marketplaceの一員として、これらのニーズに対応できることを嬉しく思います。」

SecloreのCEOのビシャール・グプタ（Vishal Gupta）氏は、次のように述べています。「脅威対策とデータ保護により、完璧なセキュリティ態勢が実現します。McAfee ePOフレームワークに組み込まれたSecloreは、McAfee DLP、Email PreventおよびMVISION Cloudから呼び出されたアクションを介してお客様データを自動的に保護することができます。ネットワーク、デバイス、アプリケーションにまたがるデータ追跡は終わり、データを永続的に保護、追跡し、それを利用することによって代わりました。これは、最高の技術が揃った新しい一例といえるでしょう。」

MVISION Marketplace のソリューションには、完全なエンドポイント保護、完全なネットワーク保護、完全なクラウド保護、完全なデータ保護、完全な SOC セキュリティが含まれます。

お客様およびパートナーのメリットとして以下が挙げられます。

- **迅速に評価** – お客様はマカフィーとパートナーのアプリケーションを数分で評価できます。購入手順も簡単で、本番環境にすぐに移行できます。
- **容易に構築** – マカフィーとパートナーの IP を埋め込む機能を備えた、オーダーメイドのアプリケーションを構築できます。
- **効率的な展開** – 市場をリードするソリューションのデモや POC（Proof of Concept:概念検証）をパートナーとマカフィーが共同で行い、数分で本番環境に導入できます。

詳細情報：

- [MVISION Marketplace（英語）](#)

#### マカフィーについて

マカフィーはデバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業です。業界、製品、組織、そして個人の垣根を越えて共に力を合わせることで実現するより安全な世界を目指し、マカフィーは企業、そして個人向けのセキュリティソリューションを提供しています。

詳細は <https://www.mcafee.com/enterprise/ja-jp/home.html> をご覧ください。

\*McAfee、マカフィー、McAfee のロゴは、米国およびその他の国における米国法人 McAfee, LLC またはその関連会社の商標又は登録商標です。

\*その他の会社名、製品名やブランドは、該当各社の商標又は登録商標です。

#### <本情報のお問い合わせ>

マカフィー株式会社 (<https://www.mcafee.com/enterprise/ja-jp/home.html>)

広報担当 戸田

東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 20 階

Tel: 070-2680-0731 Fax: 03-5428-1480

[hiromi\\_toda@mcafee.com](mailto:hiromi_toda@mcafee.com)

マカフィー広報担当

ウィタンアソシエイツ

担当：中根／桑村

[mcafee-pr@witan.co.jp](mailto:mcafee-pr@witan.co.jp)